



# NICHIYOSHI ニューズ

2009年夏

〒710-0833  
倉敷市西牟新田 548  
TEL 086-430-2355  
FAX 086-430-2266  
柚木みちよし・金光学園  
同窓生による後援会  
<http://yuzu.jp>

## 柚木道義君に期待する



金光学園中学高等学校中学教頭

佐藤 正俊 (高二十回)

「国會議員」と言えば、私には良くも悪くも一つのイメージがありました。そのような中で、柚木道義君は私の中では、最も国會議員らしくない国會議員と言えるかもしれません。議員になる前、同窓会や様々な会合がある度にごまめに顔を出し、色々な方に積極的に話しかけまわっていた頃も、その後、衆議院議員に当選され国會議員になられてからも、柚木君が一人ひとりに対して誠実に接する姿勢は全く変わりません。もっと言えば、彼が金光学園に在籍していた、中学高校時代からも何ら変わっていないかもしれないまでもなく、卑下するわけでもなく、誰かにこびることもなく、誰かを陥れるわけでもなく、常に彼自身

の信念に基づいて正しいことは正しいと言い、間違っていることは間違っていると言う。当たり前前のことが当たり前前にできる、そんな柚木君が私は好きなのです。

金光学園では探究学習の一環として東京研修を行っています。その中の、国会見学プログラムでは毎年柚木君にお世話になっています。公務多忙の中、わざわざ柚木君自ら国会内を案内してくださり、生徒たちに政治についてお話を下さる。



そんな柚木君と接して、生徒たちは偉大な先輩に誇りを抱き、自らの夢を抱く機会になっています。この場をお借りし御礼申し上げます。

金光学園の合言葉に「人をたいて自分に、自分をたいて人に」というのがあ

## さあ、決戦の時だ



会長

河田 英正 (高十八回)

ります。この合言葉を借りて、柚木君にお願いします。人を大切にするための政治を、自分(広い意味で)を大切にするための政治を、物を大切にするための政治を行ってください。何事に対しても真っ直ぐな柚木道義君に期待をしています。

駅頭で、住宅地で、荒れた天候であっても仕々に立ち、一人ひとりに誠意をもって政治と政策の革新を訴え続けた柚木道義君。難航不落と言われる後援会に支えられた有力な世襲候補を退けて、まさに日本の政治革新の先頭にたつてから、すでに4年が経とうとしています。

党です。民意を問うことに脅威を覚えるような政権はもう終りにしてははいけません。いざいざそこに迫っており、首相はいやでも総選挙をせざるを得ない状況であり、決戦の時が迫っています。

議員になってからは、現場を大切に、あちこちに飛び回ることを厭わず、常に国民の立場に立ち、その目線で活動されてきたことは誰もが認めるどころです。すでに一年以上前から、いつ解散があってもおかしくないといわれながら、首相が代わっても民主主義の基本である選挙を避け続けてきた政府・与

木綿崎山のふもとで培われた「ほつま精神」で、日本の政治の革新と愛ある政治の実現のために、柚木道義君にさらに活躍してもらおうではありませんか。今日までの同窓の皆様方の温かいご支援に感謝申し上げます。ともに、来るべき決戦の時に向けて、柚木君に対する支持の輪をさらに広げる決意です。

# 同窓生の輪

金光学園はつま同窓会有志の皆さまより、多くの投稿をいただきました。ありがとうございます。皆さまの近況報告の場としてもご利用いただければ幸いです。

## げえっ!! 12%

小野 英四郎 (高十二回)

毎日のように腹を立てています。国民をなめるのもほどほどにしてほしい。

「骨太の方針2009」の原案によると、財政健全化のために消費税を12%にしたいのだそうです。つい2ヶ月前の麻生さんの話はどうではありませんでした。「行政のあらゆる無駄をまず省く。そしてな足りないときは、税制全般を見直す。そのとき消費税は医療福祉のための目的税としてもよい。」ではなかったか。

天下り法人の問題など無駄を省く努力を放棄しておいて、景気刺激のための大型補正予算を組み大判ふるまい。アニメの殿堂建設などはまさに噴飯ものです。新幹線や道路の建設、箱もの建設はしばらく先に延ばしてもいいではありませんか。「大胆に改革に取り組み」とか「適宜

適切に判断します」とかの政治家の言葉が誠にむなしく聞こえます。

経済が苦しいとき、我々は節約をし我慢することを知っています。なぜ政治がからむと景気刺激の名のもとに大判ふるまいとなるのでしょうか。そして我々国民にそのツケを要求するのでしょうか。

## 国の健康、私の健康

青木 恒夫 (高十六回)

「人間というものは常に利己的即ち自己中心的な考えのもとに行動する動物である」かのソクラテスが言ったかどうかは知らないが私もそう思う。小泉内閣時の自己中心的な考えで福利厚生関係の国家予算を改革の名のもとで削減したことは記憶に新しいと思う。なかでも医療費。毎年2,200億円の削減のため医療機関、特に病院経営の困難を誘引し、最後には倒産あるい



は診療所に変更といった医療施設が出現するまでに至った。

医療費は2年毎改定時減額され、その仕組みが国(厚生省)の思うままに操られている。ある経営コンサルタントの人が話していた言葉が今でも忘れられない。厚生省の役人曰く「病院もしぶといえ! なかなか倒産しないヨ!」この言葉を聞いたコンサルタント会社の人自身身震いがしたといえます。病院が倒産し絶対数が減れば確かに医療費の予算は少なくてよいと思うが、患者はどうすれば医療を受けることができるのか? その結果が出たのはそんな話しをきいて5、6年経過したある日、救急車の患者を医療機関がたらい回しにした。また、産科、小児科等の医師不足という結果である。

## 恩返しは、今秋から!

花咲 宏基 (高二十七回)

岡山で衆議院選挙に向けて活動を始めて、6年となります。

小学校入学前に東京から呼び寄せた私の長男も5年生となり、中学受験について考える年齢となりました。妻は、母親ネットワークの中で、各学校の情報収集をしています。そんな中、金光学園の評判も自然と入ってきます。また、私自身挨拶廻りをしていまでも、学園の評価が入ってきます。先生方の不断の努力に敬意を表しますが、率直に言って、元気がないように感じます。

その評判を聞いて、学園で学ばせていただいた一人として、学園への貢献をしなければならぬと考えます。

学園の今後の繁栄は、私たち卒業生の社会での貢献が大いに関係すると感じます。私は、微力ではありますが、私を育ててくださった学園への恩返しをす

べく、柚木道義代議士と共に、政界において、日本への貢献を果たして、学園への貢献とさせていたきたいと存じます。今秋から!

今後とも、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

## さらなる活躍を期待しています!

徳永 晶子 (高四十一回)

ピアノ講師)

「柚木みちよし議員を応援して生! バンザイ!!」と叫んではや四年。

柚木みちよし議員を応援している誰もが喜びいっぱい涙を流したあの瞬間は、今でも忘れることができません。

当選する前は勿論のこと、当選してからも頭が低く、まじめで、何に対しても真っ向から取り組む彼の姿勢には今も全く変化ありません。

そして何と言っても、あの明るい笑顔が魅力的です。

私の周りのみんなが言います。「柚木議員はどこへ行ってもおるなあ!」「今日もあの交差点へおったでえ!」...そうなんです。休む日がありません。彼の体は大丈夫でしょうか?

今まで国会議員と言えば別世界の人。私たち地域の意見や気

持ちが議員に伝わることもなく、国会中継を観ても漠然と観るだけ…。そんな状態が、彼によって身近なものになりました。政治がとても身近なもの、身近なところになったのです。地域の現状・意見・考えが国会に届くのです！

そんな柚木みちよし議員を私は必死で、そしてがむしゃらに応援します。

多くの人が一緒に応援してくださるよう力一杯頑張ります！多くの皆さまの応援を大きな大きな力にして、さらにさらにパワーアップした柚木みちよし議員の活躍を心から期待しています。

### 柚木先輩との出会い

中桐 良太郎（高五十八回  
東京大学法学部第一類四年）  
柚木先輩を知るきっかけとなったのは、私が高校生であっ

## インフォメーション

- ・8月上旬、金光学園生徒さんが国会見学。
- ・総選挙後久留米にグルメツア。
- （世話人：高19回高橋増夫さん）
- （世話人：高17回西崎一雄さん）

た頃の選挙ポスターでした。元総理の選挙区ということもあり、正直なところ無謀な挑戦だと思っていました。2度目のチャレンジで柚木先輩は見事に国会議員となりました。私は19歳で投票はできませんでしたが、テレビで当確が出たときは非常に興奮したのを覚えています。

大学で私も上京し、柚木道義議員御本人と直接お話をさせて頂く機会がありました。睡眠時間を削りながら国会議員として奔走なさり、高い志を持って日本のビジョンを語る姿に感動し、金光学園の後輩として誇りに思っていました。

柚木先輩が今後日本の若きリーダーとして政治を引っ張っていく存在になるということを確信しております。金光学園の後輩として、微力ながらも協力できることがあればお手伝いしたいと思っています。

### 国会見学を計画されている方

国会見学は現在、国会議員の紹介を必要とします。  
ご希望の方は柚木みちよし事務所でご連絡下さい。

### 俳句随想

## 茄子の花



花房 柊林（高七回）

休耕の美田波うつ夏野かな  
放置畑天駆け上る大夏野

わが峠の郷は、かつて豊かな実りの約束された美田の里であった。昭和30年代後半の高度成長期を迎え、若者は農を離れ、農事の一翼を担った子供たちの姿も田園から消えた。

「耕して天に至る」戦中戦後の開墾畑も、今や捨て畑となり大夏野と様変わりした。

父の日や父の愚直の農と絶ぐ  
父の日や父の名刻む四ツ目鉢

「農を粗末にする国は滅びる」という素朴な農業哲学を抱き、四十五歳で稲作を継いだ私は、父

の農の遺産に学び、以来農に生き農に生かされて現在に至る。自給率僅か四十％、地産地消と食育の課題。日本の農を取り巻く問題は深刻である。

孤食欠食個食といふ語や茄子の花  
家族一緒に食卓を囲むことのない孤独な子供たち。朝食を用意されない欠食児童。衣食住の中心はまさに「食」なのである。

地域で収穫したものを地域で頂く。食の安心安全の手始めに、先ずは学校給食の地産地消をぜひ実現したい。そして地域・保護者・学校が一体になっての食育に取り組みたい。

満天の星のきらめく代田かな  
蝸牛母は豊かに老いにけり

今年も休耕田の間（はさま）の稲田に、緑の早苗が風になびく。夜は満天の星がその影を映す。亡き父と共にその生涯を農に生きた母も年老い、静かな余生を送っている。

### チエンジ2009 第1部 鎌田 實先生の講演を聞いて

編集者 T.Y

年間500回もの講演をこなされる鎌田先生は、政治家のパーティに出たのは今回が初めてのことだそうす。

では、なぜ柚木道義議員の応援に来たのか？鎌田先生は、今この国が直面している大変な状況について、体制として資本主義を選ぶしかないのであれば、どんな資本主義がいいのか？大事なこととして、ポイントを三つに絞って話されました。

まず何が一番大事か？それは政治で、二大政党で政権が交代できるシステムがないと絶対に良くならない。

二番目に大事なことは、小泉さんには一貫して批判してきたが、小泉さんのように世襲で、金持ちで、恵まれている人には庶民の気持ちは絶対に分らない。小泉さんのように、ドライにアメリカの真似をしたのではいけない。日本人は、5月には梅雨があって、じめじめしたウエットな気候の中で何千年も生きてきた。日本人にはウエットな資本主義でなければいけない。

三番目は、世襲をさせない。これは、あまり良いことじゃない。初めて、このようなところに来たのは何故か。柚木道義議員本人が直接電話をして講演のお願いをしたこと、彼は議員になってすぐ医療のこと、介護のこと、福祉のことについて鎌田先生の病院に勉強しに行った。

そんな柚木議員の熱意を感じたからだと言われ、「この熱意ある議員を倉敷の皆さまの応援で更に育てていただきたい。」大きな期待を残して次の講演場所に向かわれました。

# みちよしのおきょうぶ

## 4年間の感謝をこめて

衆議院議員 柚木 道義  
(高43回)

日頃のご支援・指導に心から感謝申し上げます。

早いもので国会に送って頂いてこの9月で丸4年になります。本当にあつという間での4年間でした。この間、45回の国会質問に立つことができました。

消えた年金問題では、無年金だったため80才になっても働いていた女性が多量に倒れ、今も意識がないとのこと。家族が調べたら、何と3000万円もの年金が本来支給できるはずだったことが判明。年金をちゃんともらえていたら、その女性は倒れることはなかったかもしれません。

医療・介護問題では、医師不足や予算削減のため、安心して産めない、育てられない、老後を送れないの三重苦です。

急患の受入先が見つからず、出産の際に妊婦が亡くなったり、他にも救えたかもしれない命が失われています。医療・介護の現場で働く方々も過労状態です。

働く現場では、派遣切り、内定切り、はては育児休業を申請したら解雇という「育休切り」まで起こっています。

こうした、年金切り、医療・介護切り、派遣切り、内定切り、育休切り、つまりは『国民生活の切り捨て』を変えるためには、『政権チェンジ(政権交代)』しかありません。全力で戦いぬきます。今後ともご指導ご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 「柚木議員の秘書となって」

秘書 大島 賢  
(高43回)

はじめまして、秘書の大島です。

議員と同じく高43回卒です。秘書になるまでの経緯は後程、まずは議員との出会いから書きたいと思います。20年以上前の事で多少記憶がアヤフヤなのはご勘弁を。思えば、中一の時、理由は忘れましたが、柚木君が片山先生から罰かなにかでコンクリートブロックを運んでいたのを手伝った事がきっかけだった様に、覚えています。議員は覚えていないといっていましたか……。

その後、中2の時、同じクラスになり、議員が生徒会長に立候補した時、お調子者だった私は中学校の校舎中で「柚木みちよしをお願いします」と叫んでいました。結果、柚木君は生徒会長に当選し、私も生徒会役員になって生徒会活動をしました。それから23年たった今、国会議員と秘書という関係になっています。

そもそも秘書になった経緯は、結婚して東京に転動になり普通のサラリーマンをしていた私にかかってきた一本の電話が始まりです。

「秘書になってくれんか!」から始まって国会見学に誘われ、江田洋一参議院議長秘書と面会し、政権交代の野望実現に心動かされ、15年勤めた会社を退職して、妻に事務所の手伝いをしてもらいながら、今にいたっています。まあ縁を通りこして宿命のようです。

秘書になって早半年が過ぎ、いよいよ選挙が見えてきた今日この頃、最初、何もわからないまま議員に付き従いわかった事、それは柚木議員の政権交代への熱意・その先にある政治を良くしたいという信念、その為には、選挙に勝ち、政策を実行する行動力、厚かましいといわれようと、目立ちたがりやといわれようと、それ以上に支援してくださる方を増やそうとする根性、そんな議員だからこそ、こいつなら本当に政治を変えられると信じ、友人として、秘書

として、これからは変わらぬに支えて行こうと思っています。



「柚木みちよし・金光学園同窓生による後援会」では会員を募集中です。お知り合いの同窓生の方にお薦め下さい。

### 募集

MICHIYOSHI's Photo Album



MICHIYOSHI's Photo Album